日日是Oracle APEX

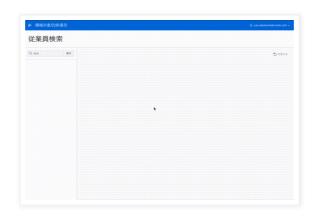
Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年3月31日水曜日

ファセットに指定があるときに限りリージョンを表示する

検索ボックスのみのファセットで、値が指定されているときだけ検索結果のリージョンを表示したい、という相談があり、ちょっと実装してみました。

ファセットの項目はページ・アイテムではないのですが、JavaScript APIのapex.itemを使うことで値を取得できました。これをクライアント側の条件に指定することによって、リージョンの表示/ 非表示を切り替えます。



確認するためにアプリケーションを作成しました。以下より、その作業口グになります。

サンプル・データセットのEMP/DEPTを元に、ファセット検索のページを作成します。

最初に空のアプリケーションを作成します。アプリケーション・ビルダーより、アプリケーション 作成ウィザードを実行します。**名前**は任意ですが、ここでは**領域の表示/非表示**としています。それ 以外は追加の設定をせずに、**アプリケーションの作成**を実行します。



アプリケーションが作成されたら、ファセット検索のページを作成します。**ページの作成**をクリックします。



コンポーネントのレポートをクリックします。



ファセット検索をクリックします。



ページ名を従業員検索とし、ブレッドクラムにBreadcrumbを選択します。次に進みます。



ナビゲーションのプリファレンスとして新規ナビゲーション・メニュー・エントリの作成を選択します。これでナビゲーション・メニューからファセット検索のページを開くことができるようになります。次に進みます。

データ・ソースの設定では、表/ビューの名前としてEMP (表)を選択します。今回は文字列の検索ボックスのみを使うので、ファセットのチェックはすべて外します。作成をクリックします。ファセットを選択する部分は画面の下に隠れているはずなので、画面を広げるか、またはスクロールさせて表示させます。



ファセット検索のページが作成されるので、実行してみます。最初に表示されるページでは、検索ボックスに指定がないため、表EMPの全件が表示されます。



検索ボックスに文字列を入力して実行をすると、検索結果が絞り込まれます。このときだけリージョンを表示する、という設定を行います。

ページ・デザイナにてファセット検索のページを開きます。ファセット検索のリージョンで動的アクションの作成を実行します。



作成した動的アクションの**名前**は任意ですが、ここでは**検索結果の表示**としています。**タイミング**の**イベント**は**ファセット変更[ファセット検索]、選択タイプ**は**リージョン**、**リージョン**は**検索**を選択します。

クライアント側の条件として、**タイプ**に**JavaScript式**を選択し、**JavaScript式**に以下を指定します。

検索ボックスのファセット名が**P2_SEARCH**なので、それをapex.itemに渡しています。そのファセットの値が空文字列""でなければ、Trueアクションを実行します。

True**アクション**として、**表示**を選択します。**影響を受ける要素の選択タイプ**に**リージョン**を選び、**リージョン**として、検索結果のリージョンである**検索結果**を選択します。ページが開いた時にも評価されるように、**初期化時に実行**は**ON**にします。



リージョンの表示を行うアクションを作成したので、反対に非表示にするアクションを作成します。表示のアクション上でコンテキスト・メニューを表示させ、その中から**反対のアクションの作成**を実行します。



検索結果のリージョンを非表示するFalseアクションが作成されます。



以上で今回の実装は完了です。作成したアプリケーションを実行すると、最初のGIF動画のような動作を確認することができます。

今回作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。 https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/showfacetsearchregion.sql

Oracle APEXのアプリケーション開発の参考になれば幸いです

Yuji N. 時刻: <u>12:29</u>

共有

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.